

学校通信

令和2年4月号

笠岡市立大島中学校

令和2年度のスタートにあたって

3月から突然の臨時休業となり、例年とは異なる年度末を過ごしてまいりましたが、4月7日に始業式を行うことになりました。休業中は、保護者の方には、家庭での生徒の生活にご配慮をいただき、ありがとうございました。学校の再開にあたって、準備していただくことなど様々なお願いをしているところです。



4月9日には入学式が行われ、今年度は28名の新入生が入学してきます。卒業式と同様に参加者を絞り、短時間での式となります。2年生17名・3年生26名と合わせ、全校生徒71名で新年度がスタートします。

本年度は、臨時休業明けで、生徒の学校生活への不安や保護者の方の心配もおおいかと思います。学校での学習・生活も、従来行ってきたことがそのままできないことが多いと考えます。当面、登校から授業、帰りの会、下校までの学校生活が順調に再スタートできることを最優先に対応してまいります。密閉・密集・密接の3つの「密」を避け、マスクの着用や咳エチケット、手洗いの徹底など感染防止の観点から、指導してまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。全国でマスクが手に入りにくい状況が続いています。本校では、15日に授業で「布マスク」を作成する予定です。部活動については、4月下旬以降に再開に向けた検討をし、3つの「密」を避けるなどの条件整備を進めたいと考えています。それまでは、家庭で適度の運動を個別にお願いします。平常の学校生活を目指して、教職員一同力を合わせ、一所懸命に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様、今後も様々なお願いをする場面があるかと思いますが、本年度もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

大変お世話になりました

令和元年度末の人事異動で9名の先生方が離任されました。先生方には、大変お世話になりました。新任地等での活躍を祈念しています。

【離任された先生】

加藤 丈雄	先生 (教頭) < 2年間 >	笠岡市立新吉中学校へ
坂本留美子	先生 (教頭) < 1年間 >	本校兼務を離れ他の中学校兼務に
道廣 紗弥	先生 (教諭) < 3年間 >	倉敷市立玉島北中学校へ
大井 志保	先生 (養護教諭) < 4年間 >	倉敷市立玉島東中学校へ
千々木 優	先生 (講師) < 6年間 >	浅口市立寄島中学校へ
藤原 澄子	先生 (非常勤講師) < 13年間 >	本校兼務を離れ他の3校兼務に
本瓦祐里香	先生 (学校司書) < 1年間 >	退職
道廣知寿栄	先生 (教員アシスタント) < 1年間 >	笠岡市立新山小学校、今井小学校へ
小林ゆかり	先生 (教育支援員) < 1年間 >	笠岡市立神島外小学校へ

新たな気持ちで頑張ります

次の者が新たに着任しました。一日も早く大島中学校に慣れ、保護者・地域の皆様にご支援いただきながら、生徒とともに頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【着任された先生】

小井 寿史 (おい ひさし)	先生 (教頭)	笠岡市立金浦中学校から
三宅 理恵 (みやけ りえ)	先生 (指導教諭・授業改革推進員)	授業改革推進員 総社市立2中学校と兼務
岡部 愛 (おかべ あい)	先生 (教諭)	倉敷市立倉敷第一中学校から
平野 京子 (ひらの きょうこ)	先生 (養護教諭)	再任用
山本 夢一 (やまもと ゆめひと)	先生 (教諭)	新任
松浦 孝彦 (まつうら たかひこ)	先生 (非常勤講師)	本校を含む3校兼務
森分真美子 (もりわけ まみこ)	先生 (非常勤講師)	笠岡市立新吉中学校から
市原 裕子 (いちばら ゆうこ)	先生 (支援員)	笠岡市立神島外中学校から

白神奈津美 (しらが なつみ) 先生 (教員業務アシスタント・2校兼務) 新任
鈴木 奈緒 (すずき なお) 先生 (学校司書・2校兼務) 井原市立2小学校から
池原 洋人 (いけはら ひろと) 先生 (初任者指導・市内外5中学校兼務)

○家庭訪問 (4月) は延期または中止

今年度は、1年生だけの家庭訪問を予定していましたが、「新型コロナウイルス感染症拡大防止」の観点から、延期または中止とします。後日実施する場合は改めてご案内します。

○全国及び岡山県の学力・学習状況調査は延期

1・2年生を対象とした岡山県学力・学習状況調査と3年生を対象とした全国学力学習状況調査は4月16日(木)に実施予定でしたが、延期の決定がされました。今後の日程等は、わかり次第お伝えします。それまでは学校、家庭での学習を充実させていきましょう。

○引き続き、次のことに重点を置いた教育活動を展開します

(「新型コロナウイルス感染症拡大防止」の観点から、4月に実施できない内容もあります。)

1 確かな学力の定着

- 基礎・基本の確実な定着 (学習指導のスタンダード 増補版に則り)
 - ・関連する既習事項や前時の振り返りを行い、「めあて」「まとめ」「振り返り」のある授業実践を進める。
 - ・ICT機器の有効な活用
- 「学び合いのある授業」の展開
 - ・主体的・対話的で、深い学びが展開される学習活動を設定する。
- 家庭学習の工夫
 - ・予習復習の習慣化を図る。授業の「振り返り」が家庭学習の「めあて」となるよう、授業と連動させた自主学習を定着・充実させる。生活ノートの活用により日々の学習計画の指導をする。
 - ・保護者と連携して、家庭学習の充実を図る。

2 心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

- 自他を尊重し、協働することのできる生徒を育成し、「いじめをしない・させない」集団づくりを進める。
- 「自分の考えを伝える・相手の思いを理解する」ことを重視し、コミュニケーション能力を育成する。
- 道徳教育を充実させ、規範意識・人権意識の高揚と自立心・自律心の醸成を図る。
- 読書習慣の定着により、多様な価値観の習得を図る。
- プロジェクト学習を「地域学」に位置づけ、主体的に地域に貢献する態度を育成する。
- 週番活動や勤労奉仕活動を通して、自己有用感を育成する
- 生徒会活動や学級活動を活性化させ、自主性や自発性の伸長を図る。

3 規律正しく、健康で安全な生活

- 基本的生活習慣の定着
 - ・明るく気持ちのよいあいさつを励行する。
 - ・「メディアコントロール・ウイーク」など保護者と連携して、規則正しい生活習慣の定着を図る。
 - ・「みたけっ子の約束」「みたけっ子の身につけたい力」をもとに、就学前から義務教育終了時までを見通した、学校・家庭・地域が繋がりを持った指導を充実させる。
- 健康・安全・生命尊重に対する意識の向上
 - ・性教育・情報モラル教育の充実を図る。
 - ・防災訓練の計画的な実施により、防災・減災の意識を高める。

4 学校組織の機能化と開かれた学校づくり

- 学校通信や学校HPの充実、参観日やオープンスクール等を通じて、家庭・地域との連携を進める。
- 小中連携を進め、一貫教育を見据えて児童生徒の交流・教職員の研修を充実させる。